

(様式第11号) (第24条関係)

太陽光発電施設設置届出書

2025年 6月 23日

長野県知事 様

住 所 東京都港区芝二丁目2番10号中和ビル3階
氏 名 GDsPJ2合同会社
代表社員 一般社団法人ジャパンクリーンエナジー1
職務執行者 松澤 公貴
〔法人にあっては、主たる事務所の
所在地、名称及び代表者の氏名〕

長野県地域と調和した太陽光発電事業の推進に関する条例第24条第1項の規定により、下記のとおり届け出ます。

記

太陽光発電施設の設置の場所		長野県上伊那郡飯島町七久保3017番421、3017番423、3017番424、3017番425、3017番426、3017番427、3017番1420、3017番1421、3017番1513、3017番1515
事業区域の位置及び面積		別添「位置図及び事業区域図」参照 14,770.0㎡
太陽光発電施設の合計出力		1350.0kW (太陽電池の合計出力 1561.6kW)
太陽光 発電事 業の内 容及び 実施予 定期間	発電電力の用途	☒ 売電 ☐ 自家消費 設備ID (なし オフサイトPPA方式により電力売電予定)
	設置工事着手予定日	2025年8月1日
	設置工事完了予定日	2026年2月26日
	運転開始予定日	2026年2月27日
	施設撤去予定日	2051年2月27日 (設備状況に応じて2056年2月27日)
太陽光発電施設の設置に関する計画		別添「太陽光発電施設設置計画書」参照
太陽光発電施設の構造に関する事項		地上設置型太陽光発電システムの設計ガイドライン等を参照の上、設計会社による構造(強度)計算を行い、架台について風雪に耐えられる強固なものとする。
景観保全のための措置の検討に関する事項		別添「景観の保全のための措置の検討状況書」参照
環境の保全のための措置の検討に関する事項 (※環境配慮区域に太陽光発電施設を設置する場合に限る。)		該当無し

備考	連絡先 (電話番号) 070-4847-8171 (FAX番号) 03-6435-2392 (電子メールアドレス) ryo.hanawa@gpss.jp
----	---

注1 該当する□内に△印を記入すること。

2 「太陽光発電施設の設置の場所」欄は、届出に係る太陽光発電施設の事業区域が所在する土地の地番全て記載すること。

3 「事業区域の面積」欄には、小数第1位まで記載すること。

4 「太陽光発電施設の合計出力」欄は、小数第1位まで記載すること。

5 「発電出力の用途」欄は、再生可能エネルギー電気の利用の促進に関する特別措置法(平成23年法律第108号)第9条第1項の規定による申請手続中の場合は、その旨を記載すること。

6 「備考」欄は、電話番号、FAX、電子メールアドレス等の連絡先を記載すること。

- (添付書類)
- 1 位置図
 - 2 事業区域図
 - 3 太陽光発電施設の配置図
 - 4 条例第11条の書面
 - 5 その他知事が必要と認める書類

(参考様式) (第9条関係)

太陽光発電施設設置計画書

防災対策等設置施設	☐ 調整池 ☐ 沈砂池 ☒ 排水設備 ☐ 擁壁 ☒ 管理用道路 ☐ その他（ ）		
特定区域の該当 ※該当するものは事業区域図に明示すること	☐ 地域森林計画対象民有林 ☐ 地すべり防止区域 ☐ 急傾斜地崩壊危険区域 ☐ 土砂災害特別警戒区域 ☐ 砂防指定地 ☒ 該当なし		
環境配慮区域の該当 ※50 キロワット以上の事業に限る ※該当するものは事業区域図に明示すること	☐ 国有林・地域森林計画対象民有林 ☐ 国立公園・国定公園・長野県立自然公園 ☐ 長野県自然環境保全地域 ☐ 郷土環境保全地域 ☐ 水道水源保全地区 ☐ 水資源保全地域 ☐ 希少野生動植物の生息地等保護区 ☐ 鳥獣保護区 ☒ 該当なし		
工程表	添付資料参照		
工事車両の運行計画	想定される台数（延べ） 6 0 0 台（延べ） 5 台/日 運行時間 8:00～17:00 経路 中央自動車道から林道を通して現場へ		
造成工事	盛土の有無	⑦ ・ 無	想定盛土量 425 m ³
	切土の有無	⑦ ・ 無	不陸整正のみ
	事業区域外からの搬入量		425 m ³
	事業区域からの搬入量		不陸整正のみ
排水処理設備の有無	⑦ ・ 無		
	排出経路	オンサイト貯留にて浸透処理	
送電設備	☐ 鉄塔 ☒ 電柱 ☐ 地下埋設		

(参考様式) (第7条関係)

景観の保全のための措置の検討状況書

項 目		検 討 事 項	配慮する内容
太陽電池 モジュール	全体	(1) 稜線や斜面上部、高台等、周囲から見通せる場所は極力避ける。やむを得ずそのような場所を選定する場合は、尾根や地形の連続性が損なわれる等の違和感が生じないように、樹木の伐採や土地の掘削を最小限にとどめる。	斜面や高台ではないが、周辺に林地が広がる敷地であるため、土地の造成等は不陸整正程度の必要最低限にとどめる計画とした。
		(2) 公共的な眺望点からの景観への影響に特に留意し、完成予想図の作成（シミュレーション）等を実施する。 ※検討で作成した完成予想図は添付すること	8.5km離れた陣馬形の森公園から僅かに視認できるため、完成予想図を作成した。
	配置	(1) 敷地が主要な道路や住宅の敷地等に隣接する場合は、太陽電池モジュールを境界から一定距離後退させる。	住宅の敷地に隣接するため、住宅の敷地界から10m後退させた。
		(2) 施設の規模や地形等に応じて分割する等、大規模な平滑面が連続することを避ける。	敷地形状に合わせて法面には配置しないことでパネルを複数エリアに分割した。
	規模	(1) 周辺からの視界をできる限り遮らないよう、施設の高さは極力抑える。	冬期の積雪を勘案し、パネルの最低部分を1.0m、最高部分は2.3mとした。
		(2) 主要な道路や公共的な眺望点から見える場合は、太陽電池モジュールの垂直投影面積を極力抑える。	南側の林地に向かってパネルを設置する計画。パネルは効率が高い10度とするが、圧迫感も少ないと考えられる。
	形態・ 意匠	(1) 当該地に応じた架台を選定するとともに、太陽電池モジュールの向きや傾斜をそろえる等、配列に一定の規則性を持たせる。	地盤調査の結果、杭基礎を採用した。 発電効率の良い角度で揃えて配置した。
		(2) 太陽電池モジュールの傾斜角は、周囲の山並み、建築物の屋根等と極力整合させる。	周囲は林地であり、地形なりにパネルを配置し角度10度としているため、山並みと調和していると考えられる。
		(3) 太陽電池モジュールの裏面が周辺の道路等から見えにくくする。	一部パネルの背面が道路に隣接して向いているものの道路は林道であり交通量はほとんどないと考えられる。

項 目	検 討 事 項	配慮する内容
-----	---------	--------

太陽電池 モジュール	材料・ 色彩等	(1) 低反射のものを選択するか防眩処理を施す等、太陽光の反射を低減する対策を行う。また、素材の結晶が目立たないものを選択する。		防眩処理が施され、結晶が目立たないものを選択した。
		(2) 黒又は濃紺を基本とし、低明度かつ低彩度の目立たないものとする。		黒色を選択した。
		フレーム	(1) 低反射の素材を用いる。	ステンレス製とし、反射しにくいよう塗装した。
			(2) 太陽電池モジュールと同系色を用いる。	シルバーとした。
附帯施設・ 附属施設		(1) フェンス等については、色彩、形態・意匠に配慮する。		施設の全周にフェンスを設置したが、景観に配慮し茶色（7.5YR5/6）とした。
		(2) 電柱電線類については、極端に増加させないように、低減に努める。		新設は必要最低限の本数とするよう検討した。
		(3) 架台、パワーコンディショナー及び変圧器等の付属設備については、色彩等に配慮する。		すべてグレーベージュで統一した。
敷地の緑化		(1) 植栽計画にあたっては、効果が早期に発揮できるよう、根巻きを行った苗などの使用を検討するとともに、植栽間隔や苗木の大きさに配慮する。		敷地内の樹木の伐採は必要最小限とした。 住宅の周辺には目隠しの植栽を設置する。
		(2) 樹種の選定にあたっては、外来種及び低木性の樹種を避け、地域に適した植生とする。		隣接住民の意向や周辺地域の樹木を調査して植栽を決定する。
その他		(1) 施設の規模が大きく主要な道路や住宅地に反射光の影響が懸念される場合は、配置や向き、傾斜の角度、材料、植栽等の遮へい措置について検討する。		パネルは林地に向いているため、道路や住宅に反射の影響は少ないと考えられる。
		(2) 施設及び敷地内は、定期的に保守点検を行うなど、適切に維持管理を行い、景観の保守に努める。		25年間の維持管理計画を立て、それに沿って管理を行う。
		(3) 事業区域場所の景観行政団体の定める景観育成基準への適合を確認する。		飯島町建設水道課に景観育成基準へ適合していることを確認した。

上記以外でも、設置箇所周辺の土地利用状況、周辺景観の状況に応じて、より効果的な配慮方法を工夫してください。

(参考様式) (第 19 条関係)

維 持 管 理 計 画

作成日 2025 年 6 月 12 日

太陽光発電施設の設置場所	長野県上伊那郡飯島町七久保 3017-1420,3017-1421, 3017-421, 3017-423,3017-424,3017-425,3017-426,3017-427,3017-1515,3017-1513	
事業者名（法人にあつては、主たる事務所の所在地、名称、代表者の氏名、住所及び連絡先）	住所 東京都港区芝公園 2 丁目 2 番 1 0 号中和ビル 3 階 名称 GDsPJ 2 合同会社 代表社員 一般社団法人ジャパンクリーンエナジー 1 職務執行者 松澤 公貴 連絡先 070-4748-8171 （担当：埴）	
保守点検責任者	氏名及び住所	GPSS エンジニアリング株式会社 東京都港区芝 2 丁目 5 - 1 0 芝公園 ND ビル 6F
	電話番号	03-6435-2391
合計出力	1350. 0kW	
維持管理の内容	別紙のとおり	
施設撤去予定日（事業終了予定日）	2051 年 2 月 27 日 予定（設備状況に応じて 2056 年 2 月 27 日 予定）	
損害保険の加入状況	☒ 有 ☐ 無 （保険内容 自然災害 電氣的・機械的事故の対応）	
太陽光発電施設を撤去する際の対応	太陽光発電施設の処分は廃棄物処理業者に依頼予定。 撤去後は現状復帰の予定。 売電収入より撤去・廃棄費用外部積立実施。	
維持管理計画及び状況の公表方法	標識に掲示予定	

※標識に掲示することにより公表する場合には、標識の記載項目と同一のところは記載を省略することができます。

<太陽光発電施設等の周辺において土砂災害等が発生するおそれがある場合に予定している措置の内容>

○強風による飛散

太陽電池モジュール、架台の固定部に緩みがないこと、基礎などが強度不足になるような劣化がないことを別紙の点検項目について臨時巡視を実施

○豪雨による水害

- ・土砂崩れ等の兆候がないか、排水機能に異常がないか、別紙の点検項目について臨時巡視を実施
- ・遠隔カメラより発電所の場内を常時監視。

<土砂災害等により太陽光発電施設の損壊が生じ、又は周辺地域の環境の保全に支障が生じた場合に予定している措置の内容>

- ・電気事業法の規定に基づき、規定の報告先へ電気事故の報告を行う。

- ・事故、災害が発生した場合には、迅速に状況を把握し、関係機関（県、市、自治会など）に連絡をする。
- ・土砂の流出やパネルの飛散など周辺環境に影響を及ぼした場合は、速やかに撤去し、二次災害が起きないように対策を講じる。

<別紙>

太陽光を電気に変換する施設

対象	該当の有無	点検箇所	点検項目	点検方法	点検頻度	点検実施日
太陽電池アレイ	☑	太陽電池モジュール	表面及び裏面に著しい汚れ、きず、破損がない。	目視	年2回	半期1回ずつ
			端子箱に破損、変形がないか		年2回	半期1回ずつ
			フレームに著しい汚れ、きず、腐食、破損がない。		年2回	半期1回ずつ
	☑	コネクタ	破損、変形がなく確実に結合されている。		年2回	半期1回ずつ
	☑	ケーブル	配線に著しい汚れ、さび、腐食、きず、破損がない。		年2回	半期1回ずつ
			配線に過剰な張力、余分な緩みがない。		年2回	半期1回ずつ
	☑	電線管	破損、変形、汚損、腐食がなく正しく固定されている。		年2回	半期1回ずつ
	☑	接地線	接地線に著しい破損、断線がなく正しく接続されている。		年2回	半期1回ずつ
			接続部に緩み、破損がない。		年2回	半期1回ずつ
	☑	架台	基礎に著しいひずみ、損傷、ひびなどの破損が進行していない。		年2回	半期1回ずつ
			架台の変形、きず、汚損、さび、腐食、破損がない。		年2回	半期1回ずつ
			積雪による沈降、不等沈降、地際腐食等などの影響がない。		年2回	半期1回ずつ
			ボルト、ナットの緩みがない。		年2回	半期1回ずつ
			固定強度に不足の懸念がない。		年2回	半期1回ずつ
接続箱	☑	本体	著しい汚損、さび、腐食、破損、変形がない。		年2回	半期1回ずつ
			固定ボルトなどに緩みがなく確実に取り付けられている。		年2回	半期1回ずつ
			雨水、じんあい等の侵入がない。		年2回	半期1回ずつ
	☑	配線	配線に著しい汚損、破損、きず、さびがなく正しく固定されている。		年2回	半期1回ずつ
	☑	本体	著しい汚れ、さび、腐食、破損、変形などがない。		年2回	半期1回ずつ
漏電遮断	☑	配線	配線に著しいきず、破損がない。		年2回	半期1回ずつ
	☑	本体	著しい汚れ、さび、腐食、きず、破損、変形がない。		年2回	半期1回ずつ
パワーコンディショナー	☑	本体	固定ボルトなどに緩みがなく確実に取り付けられている。		年2回	半期1回ずつ
			コーキングなどの防水処理に異常がなく雨水などの侵入がない。		年2回	半期1回ずつ
			運転時の異常な音、振動、臭い、加熱がない		年2回	半期1回ずつ
					年2回	半期1回ずつ

	☒	配線	配線に著しい汚れ、破損、汚れ、さび、腐食、破損などがない。		年2回	半期1回ずつ
--	-------------------------------------	----	-------------------------------	--	-----	--------

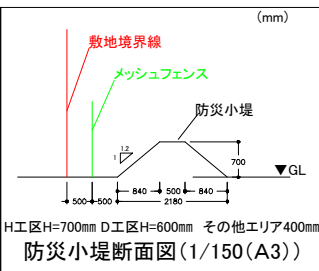
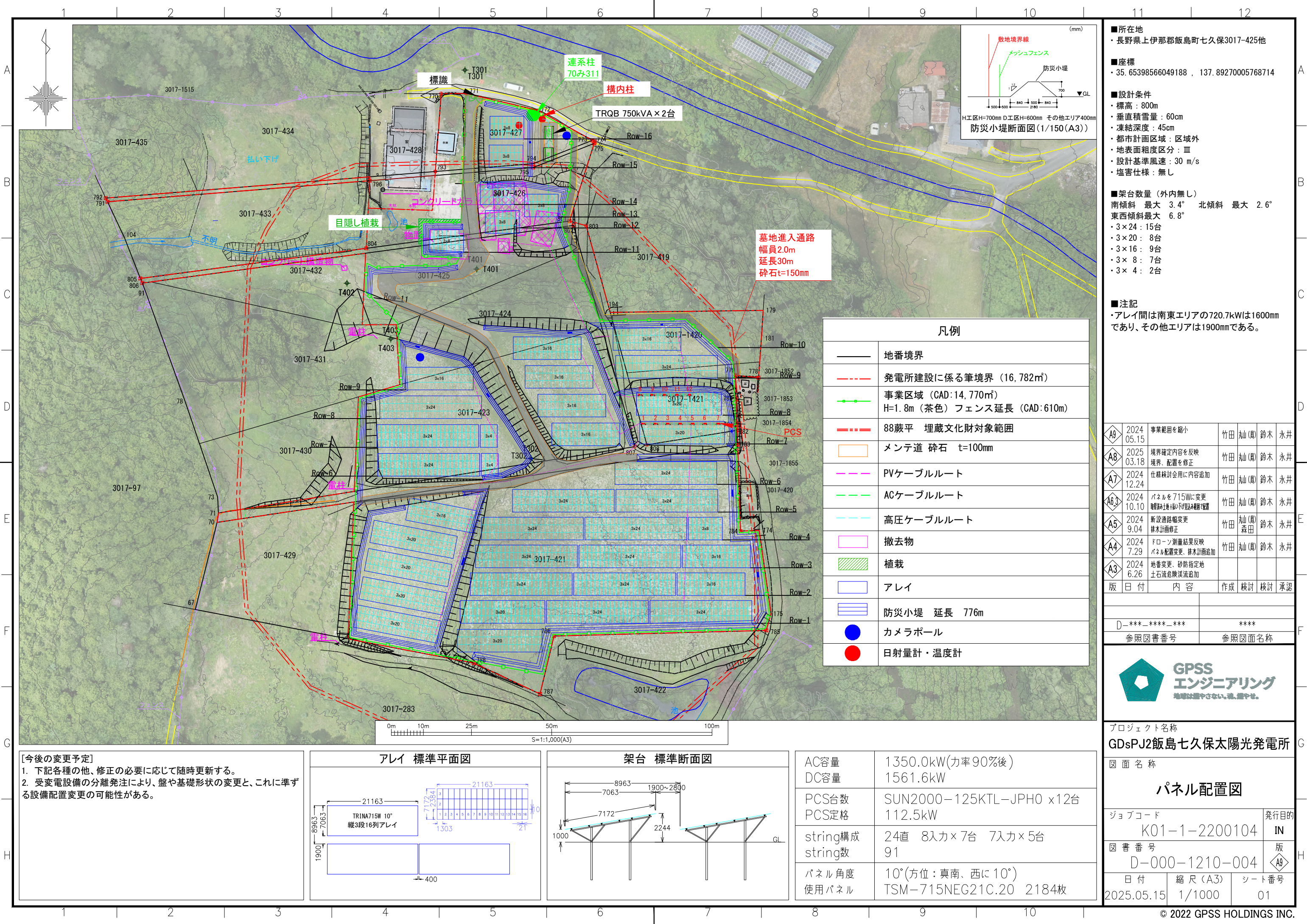
附帯施設

対象	該当の有無	点検箇所	点検項目	点検方法	点検頻度	点検実施日
法面・擁壁	☐	切土法面	小段の沈下がない。	目視		
			排水溝の損傷がない。			
			目地にずれがない。			
			開口量の大きな亀裂が発生していない。			
			吹付工法等の剥離がない。			
			法枠工法等の破断がない。			
			はらみ出しの発生がない。			
			大量の湧水（濁り）がない。			
			崩落がない。			
			上部斜面からの土砂流出がない。			
	☒	盛土法面 （防災小堤）	小段の沈下がない。		年2回	半期1回ずつ
			段差が発生していない。		年2回	半期1回ずつ
			排水溝の損傷がない。			
			法尻の崩落がない。		年2回	半期1回ずつ
			オーバーフローによる洗掘がない。		年2回	半期1回ずつ
			大量の湧水（濁り）がない。		年2回	半期1回ずつ
			湧水箇所の軟弱化がない。		年2回	半期1回ずつ
		擁壁	亀裂、割れが生じていない。			
			座屈、段差、傾斜がない。			
			つなぎ目にずれがない。			
			水抜き穴につまりがない。			
			水抜き穴から異常な土砂流出がない。			
			地山に変形がない。			
排水設備	☐	排水溝、枡	水路に落下物等のつまり、堆積がない。			
			亀裂、ずれがない。			
			破損がない。			
			排水設備外への漏水がない。			
調整池	☐	堤体	上下流の法面に崩れ、亀裂、損傷、陥没、漏水がない。			
			堤頂に亀裂、沈下、損傷、陥没、漏水がない。			
			草木の繁茂がない。			

	☐	基礎	堤体の基礎に漏水、地山のはらみ出し、沈下、崩壊がない。			
	☐	余水吐き	導流水路に亀裂、損傷、劣化、継ぎ目の開きがない。			
			越流部に亀裂、損傷、劣化、継ぎ目の開きがない。			
			放流水路に亀裂、損傷、劣化及び継ぎ目の開きがない。			
	☐	放流施設	規定の放流先以外への漏水、土砂の流出がない。			
			呑口部に亀裂、損傷、劣化、継ぎ目の開きがない。			
			吐き口に亀裂、損傷、劣化、継ぎ目の開きがない。			
			油等の浮遊がない。			
	☐	貯留部	法面に崩れ、亀裂、破損、湧水がない。			
			天端に損傷、沈下、陥没、損傷がない。			
			貯留部低地に著しい土砂の堆積がない。			
			油等の浮遊がない。			
			下流河川（周辺）に洗掘、崩壊がない。			
防護柵、堀	☒	フェンス（防護柵）	著しいさび、きず、破損、傾斜がない。		年2回	半期1回ずつ
	☒	標識（事業計画、注意喚起）	視認性を損なう汚れ、文字の色落ち、擦れ、破損がない。		年2回	半期1回ずつ
	☒	入口扉	開閉に異常がなく施錠に問題がない。		年2回	半期1回ずつ
進入路・管理道	☒	通路等	周辺からの土砂の流入、堆積がない。		年4回	四半期1回ずつ
			事業地周辺への土砂の流出がない。		年4回	四半期1回ずつ
			雨水等による洗掘がない。		年4回	四半期1回ずつ
			草木の繁茂がない。		年4回	四半期1回ずつ
設置地盤	☐	舗装あり地盤	亀裂、剥離がない。			
			段差、傾斜がない。			
			空洞の発生（土砂の流出）がない。			
			隆起の発生がない。			
設置地盤	☒	舗装なし地盤	周辺からの土砂の流入、堆積がない。		年4回	四半期1回ずつ
			事業地周辺への土砂の流出がない。		年4回	四半期1回ずつ
			雨水等による洗掘がない。		年4回	四半期1回ずつ
			草木の繁茂がない。		年4回	四半期1回ずつ

※施設の規模や立地、設備に応じた内容の点検項目を適宜追加してください。





- 所在地
・長野県上伊那郡飯島町七久保3017-425他
- 座標
・35. 65398566049188 , 137. 89270005768714
- 設計条件
・標高：800m
・垂直積雪量：60cm
・凍結深度：45cm
・都市計画区域：区域外
・地表面粗度区分：Ⅲ
・設計基準風速：30 m/s
・塩害仕様：無し
- 架台数量（外内無し）
南傾斜 最大 3.4° 北傾斜 最大 2.6°
東西傾斜最大 6.8°
・3×24：15台
・3×20：8台
・3×16：9台
・3×8：7台
・3×4：2台
- 注記
・アレイ間は南東エリアの720.7kWは1600mmであり、その他エリアは1900mmである。

凡例	
	地番境界
	発電所建設に係る筆境界（16,782㎡）
	事業区域（CAD:14,770㎡） H=1.8m（茶色）フェンス延長（CAD:610m）
	88歳平 埋蔵文化財対象範囲
	メンテ道 砕石 t=100mm
	PVケーブルルート
	ACケーブルルート
	高圧ケーブルルート
	撤去物
	植栽
	アレイ
	防災小堤 延長 776m
	カメラポール
	日射量計・温度計

◇A9	2024 05.15	事業範囲を縮小	竹田 弘(調) 鈴木 永井
◇A8	2025 03.18	境界確定内容を反映 境界、配置を修正	竹田 弘(調) 鈴木 永井
◇A7	2024 12.24	仕様検討会用に内容追加	竹田 弘(調) 鈴木 永井
◇A6.3	2024 10.10	パネルを715Wに変更 取付け位置・傾斜・配線を変更	竹田 弘(調) 鈴木 永井
◇A5	2024 9.04	新設通路幅変更 排水計画修正	竹田 弘(調) 鈴木 永井 森田
◇A4	2024 7.29	ドローン測量結果反映 パネル配置変更、排水計画追加	竹田 弘(調) 鈴木 永井
◇A3	2024 6.26	地番変更、砂防指定地 土石流危険渓流追加	
版 日 付	内 容		作成 検討 検討 承認

D-***-****-***	****
参照図書番号	参照図面名称



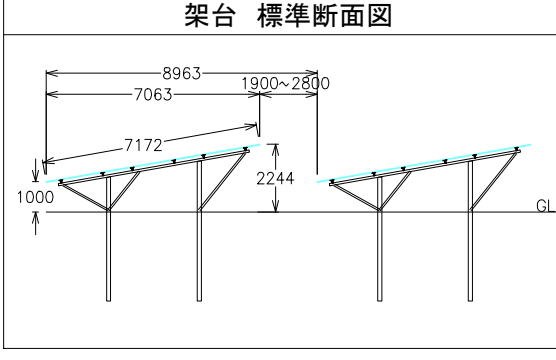
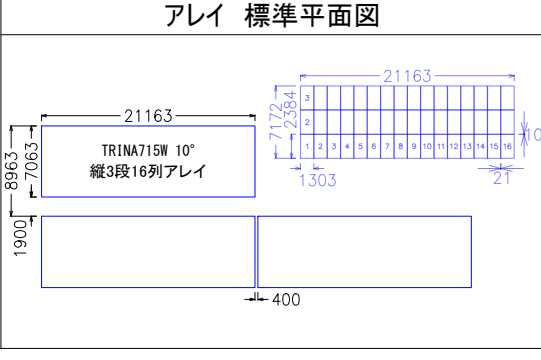
プロジェクト名称
GDsPJ2飯島七久保太陽光発電所

図面名称

パネル配置図

ジョブコード	発行目的	
K01-1-2200104	IN	
図書番号	版	
D-000-1210-004	A9	
日付	縮尺 (A3)	シート番号
2025.05.15	1/1000	01

[今後の変更予定]
1. 下記各種の他、修正の必要に応じて随時更新する。
2. 受変電設備の分離発注により、盤や基礎形状の変更と、これに準ずる設備配置変更の可能性がある。



AC容量	1350.0kW(力率90%後)
DC容量	1561.6kW
PCS台数	SUN2000-125KTL-JPH0 x12台
PCS定格	112.5kW
string構成	24直 8入力×7台 7入力×5台
string数	91
パネル角度	10°(方位：真南、西に10°)
使用パネル	TSM-715NEG21C.20 2184枚

GDsPJ2飯島七久保太陽光発電所 事業スケジュール

[illegible]

撮影位置図



①



②



③



④



⑤

